

すわ大昔フォーラム

諏訪市博物館 一般社団法人 大昔調査会

第39回

事前申込制

チカラ
藤森考古学の力を、現代科学が裏付ける！！

なんと、「諏訪湖の水位は変動していた」

1908(明治42)年10月24日、諏訪湖の湖底に曾根遺跡が発見され、なぜ湖底に遺跡と、東京の学者たちの大論争となりました。杭上住居説や、断層・地滑説、島が沈んだなどの説でした。しかし、決着がつかないまま長い時間が流れます。この間、地元の考古学者・藤森栄一は、この謎の研究を続け、「諏訪湖が大きかった時と、小さかった時」があったと考え、1963年に発表しました。ですが、当時はおそらく突飛もないことと思われたことでしょう。その後、その考えを地質的な視点から、中学校教員の小口徹先生の研究が後押ししました。

今年5月1日には、新聞紙上に「諏訪湖の水 増えたり減ったり」との衝撃のタイトルが踊りました。湖底堆積物の調査から、諏訪湖の水位の変動、つまり藤森説が科学的に証明されたのです。

今回のフォーラムでは、諏訪湖の不思議な現象である「水位変動」について、藤森から出発した今日に至るまでの成果について、学ぶ機会をもうけます。

◇日時： 2024年10月19日(土) 13:00～15:00

◇会場： 諏訪市博物館 学習室 (諏訪市中洲171-2)

◇講師： 発表順

三上 徹也 先生(大昔調査会) 「藤森先生の曾根研究 ―水位変動説―」

小口 徹 先生(下諏訪町立諏訪湖博物館 専門研究員)

「藤森先生水位変動説から」

葉田野 希 先生(長野県環境保全研究所)

「湖底堆積物が語る過去1.6万年間の水位変動」

◆参加料 入館料(一般310円) ◆定員 先着40名 事前申込み制

◆申込受付 9月20日(金)から 電話・メール・ながの電子申請にて受付開始

※ 定員に達し次第、受付は終了します

電話：0266-52-7080 受付時間：午前9時～午後5時

メールアドレス：suwamu@city.suwa.lg.jp

ながの電子申請サービス：右のQRコードから



電子申請